

# サンクチュアリセンターニュースvol.81



## マンサク

早春、いの一に花をつけるため、「まず咲く」が訛って「マンサク」になったとも言われています。葉を出すのも忘れ花をつける、せっかちな植物です。

平成29年3月号

## 第11回伊豆沼・内沼研究集会が開催されました

2月18日に第11回伊豆沼・内沼研究集会が54名の参加をえて開催されました。ゼニタナゴの遺伝的特性やオオセスジイトンボの生態解明などに加え、今回は、東大、北大、酪農大、財団ですすめている、ハス刈りロボットボートや鳥類自動カウントなど、ロボットやドローン、センサーなどを活用した植生管理、生物モニタリング技術開発の特集がありました。ハス刈りロボットボートの実物も展示され、保全管理や生物調査の省力化や効率化に向けた最新技術の開発に参加者は大きな刺激を受けていました。



オオセスジイトンボについて発表する上田研究員

## 最近の取り組み

現在、湖岸の植生、ヤナギなどが増えて荒れている状態です。ヤナギは鳥や昆虫類のすみかにもなりますが、増えすぎると交通の妨げになったり、景観の悪化につながります。そのため、一部のヤナギについては伐採して管理しています。湖岸は長さ約20kmあり、全てを管理するのは難しいので、観光地周辺など目立つところを中心に刈り払っています。

刈払い後の写真のように、これからも沼周辺をスッキリして、気持ちいい眺めになるよう活動していきます。



刈払い後の景観



## 野火による一斉清掃にご協力ください

伊豆沼第2・第3工区堤防で、漁協、地元土地改良区及び財団による野火(堤防の焼却)を登米・栗原市との共催で実施します。火災とお間違えのないよう、よろしくお願いします。



三工区堤防での焼却作業(平成28年3月12日)

実施日:平成29年3月18日(土)  
(雨天、強風の場合下記日程に順延)

※3月25日(土)、4月8日(土)

実施場所:第2・第3工区堤防敷き(下図参照)



野火実施箇所

## 第58回伊豆沼・内沼クリーンキャンペーンを開催します

開催日:平成29年3月20日(月)春分の日

雨天の場合は3月26日(日)

場所:各3ヶ所のサンクチュアリセンター

開会:8:30(受付は8:00から)

閉会:10:00

-これまで伊豆沼・内沼の綺麗な景観が保たれているのはみなさまのご協力によるものです。みなさまのご参加是非お待ちしております！-



前回のようす

## 伊豆沼・内沼生き物図鑑

まだまだ寒い日が続きますが、目を凝らせば野の草花たちは春に向けて動き始めています。先日、サンクチュアリセンターの道端で可愛い花に出会いました。わずか1cm程の爽やかな青い花を着けたこの植物の名は「オオイヌノフグリ」。「大きい犬の陰囊」という意味の、ひどい名前の植物です。しかし、どこを見ても犬の陰囊に似ていません。どうしてこのような名前をつけられたのでしょうか。実は「オオイヌノフグリ」には「イヌノフグリ」という仲間が存在し、この植物の果実が犬の陰囊にそっくりなのです。そして、「イヌノフグリ」より花が大きかったため、この植物は「オオイヌノフグリ」と名付けられてしまいました。とんだ濡れ衣です。生き物には変わった名前を持つものが少なくありません(トゲアリトゲナシトゲトゲ、モジャモジャツチイロゾウムシなど...)。生き物観察にはこのような楽しみ方もあるのです。



オオイヌノフグリ

<事務局>

〒989-5504宮城県栗原市若柳字上畑岡敷味17-2

(公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団

ホームページ:<http://izunuma.org/>

Tel:0228-33-2216 Fax:0228-33-2217

E-mail:[izunuma@circus.ocn.ne.jp](mailto:izunuma@circus.ocn.ne.jp)